

長崎県レクリエーション協会情報誌

レクながすき

Let's
Enjoy



発行所：NPO法人長崎県レクリエーション協会 事務局：長崎県レクリエーション協会広報部

〒852-8104 長崎県長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター（社協棟）4階

Tel：095-842-0100 Fax：095-842-0101 業務時間：月曜日～金曜日 10時～16時

Email：rec-naga@ngs2.cncm.ne.jp

URL：http://www.rec-nagasaki.org/

2019年度に歩みだす

「東京オリンピック・パラリンピックというスポーツ界の大きなイベントまで、あと〇〇日」というお知らせが目に入ります。日本列島西の本県でもレクリエーション・スポーツに関心を呼び掛ける大きなチャンスと考えています。

オリンピックはチャンピオンスポーツの最たるものです。トップアスリートの中でもエリートの一部が参加できるものでもあります。その挑戦していく姿は多くの人々に感動を与えます。

体操の内村選手のメダル獲得が報道されると、体操教室に通う子どもたちが増えたそうです。また、冬季オリンピックで、カーリングの様子が報道されると、街のカーリング教室の参加者が増えたそうです。トップ選手の活躍は、運動をするという意欲を掻き立てるものがあります。

さて、スポーツを見てから「やってみよう」という行動に移るには、大きな壁がありますが、「楽しさの体験」からは、「もう一回やってみたいな」には、移行しやすいのではないかと考えます。

3ページの加盟団体の紹介では、長崎県綱引連盟の皆さんが、競技者が少なくなっていく中、ジュニア層に絞って普及を図っている様子が紹介されています。他にも、公民館講座として実施して、愛好者を増やそうとされている団体、老人クラブ連合会やすこやか長寿財団等と連携して競技の普及に尽力されている団体もあります。

座して待っているだけでは、愛好者は増えません。その競技の楽しさを一番知っているのは、やはり競技団体の方です。みなさんが、一歩歩みだし、楽しさを伝えていけるようにしていきませんか。そうです、今年度を「楽しさを伝える行動の年」にしていましょ。



▲ 楽しさは次のへ意欲を高めます

レクリエーションの喜びをもっと多くの方々へ

5月12日(日)諫早市にて「レクリエーション・サポーター養成講習会の為の講師トレーニング研修会兼説明会」を開催しました。

レクリエーション・サポーターとは、レクリエーションの良さをもっと多くの方に知ってもらおうと始めるレクリエーション・インストラクターの入口なる過程です。

講習会では、(公財)日本レクリエーション協会において、すでに講師研修を受講し告知を受けた平山仁専務理事が、講師を担当しました。まずは、レクリエーション・サポーター制度の内容を学んだあと、公認指導者としての活動歴によりグループに分かれ、この講習で使う実技の押さえるべきポイントを確認しました。このワークを通して、対象者へのハードルの設定の問題や対象者へのアセスメントのこと、安全の確保などが話題として上がりました。

ワークの2では、「レクリエーション講習会で困った事」として上げていただき、解決を出し合うという内容でした。「マンダラート花火」という技法で出し合い、解決の糸口を参加者は掴んだようです。

まとめとして、平山専務理事の講義は「講師としての要件」ということで、基本的な資質や内容(人権的な配慮やハラスメントへの対応、著作権等)多岐に渡って話をされました。

レクリエーション・サポーターとは

人々の心を元気にする「レクリエーション支援」について、基礎的な手法を身につけた人材です。レク・サポーター研修を修了した方は、無料でレク・サポーターの登録ができます。レク・サポーターは、さまざまなレク活動のデータベースにアクセスできるほか、レベルアップのための研修等の情報も提供します。

3つのレクリエーション・サポーター

レクリエーション活動を頻繁に行う学校の先生方、介護関係者のためのレク・サポーターと、放課後児童教室や介護予防・健康づくり活動などに携わる方のためのグループレク・サポーターを養成しています。

学校レクリエーション サポーター

学級経営にレクリエーション活動を活かし、コミュニケーションを深めて信頼関係を築いていく。そのためのレクリエーション支援の方法を身につけます。

介護レクリエーション サポーター

介護の現場でレクリエーション活動を活かし、利用者とのコミュニケーションを深めて信頼関係を築いていく。そのためのレクリエーション支援の方法を身につけます。

グループレクリエーション サポーター

スポーツ教室や放課後児童教室、地域のさまざまなイベント・活動で、参加者やグループのコミュニケーションを促進する方法を身につけます。



「綱引競技」と言えば、「日清カップ」を思い出す方も多いと思います。一番盛んなころは県大会に120を超えるチームの参加がありましたが、現在活動している県内のチームは、3チームしかありません。残念ながら、県大会の開催も難しい状況にあります。

長崎県綱引連盟として、「綱引競技」普及を図るため、長崎市の学童保育のクラブを対象にジュニアスポーツ教室を年に7～8回実施し、まず子どもたちに綱引の面白さを知ってもらうように、努めております。その結果、教室を開催すると子どもたちは、一生懸命に綱を引き、負けた方は悔しいので、自分たちで話し合い、作戦を考え、声をそろえて綱を引きます。勝った方は、また勝つために工夫をするなど、教育的な効果も多くの場面で見られるようになりました。

「綱引」は、日本で誰もが知っているレクリエーション競技です。綱引チームには、エースがいない中、全員で力をあわせて行う競技です。そして、参加人数は、制限がなく、何人でも行うことができ、老若男女参加できる競技です。

長崎県綱引連盟は、今ジュニアスポーツ教室で綱引をしている子どもたちが大人になってからも綱引を続けることを楽しみにしています。



長崎県レクリエーション協会より

お知らせ



友達と一緒に
楽しかったよ！



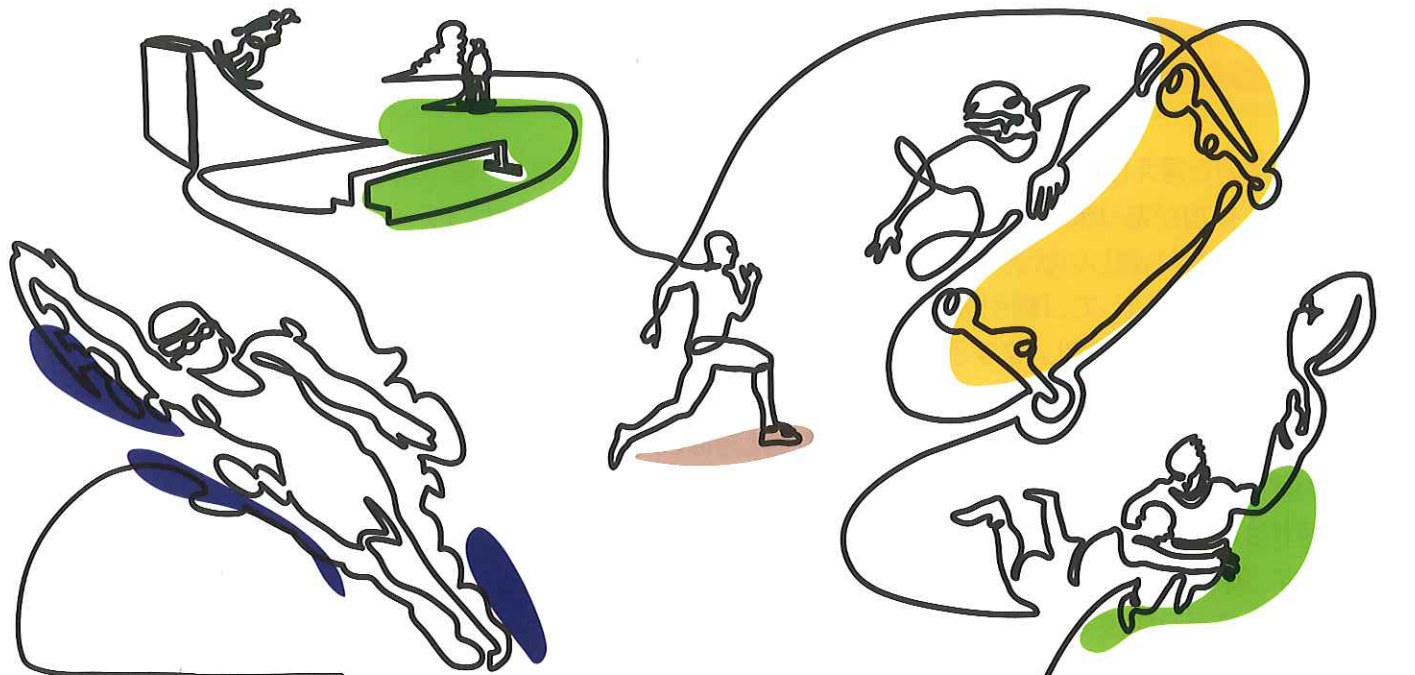
4月28日 全国一斉あそびの日・あそびのびっくり箱

「ながさき県民総スポーツ祭 スポーツ・レクリエーション祭2019inさせほ」を開催します

「ながさき県民総スポーツ祭スポーツ・レクリエーション祭2019inさせほ」は、2019年11月9日(土)～10日(日)に佐世保市を中心に開催されます。一部競技では、他都市他の日程で開催されます。

多くの方にレクリエーションの喜びを伝えるため、そして、スポーツの楽しさを体感するためにもどうぞおいでください。





つなげています スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

